



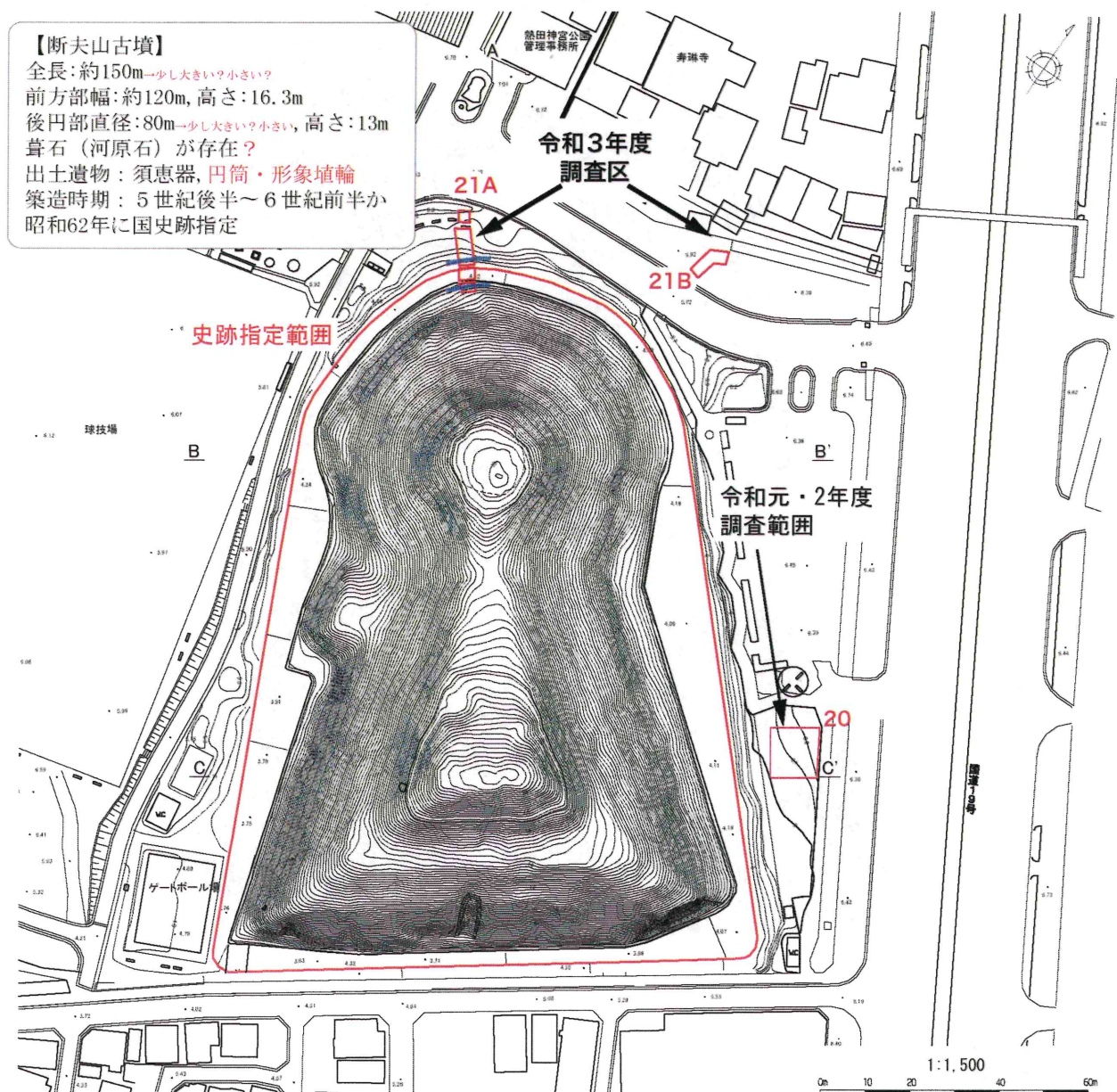
断夫山古墳発掘調査成果 (速報) 現地説明会資料

史跡・断夫山古墳の範囲・構造および遺物の残存状況等の考古学的情報を得ることを目的に発掘調査を行っています。令和元・2年度では、墳丘東側にあたる芝生広場内に設定した調査範囲で、古墳を囲む「周濠」の存在が初めて確認されました。

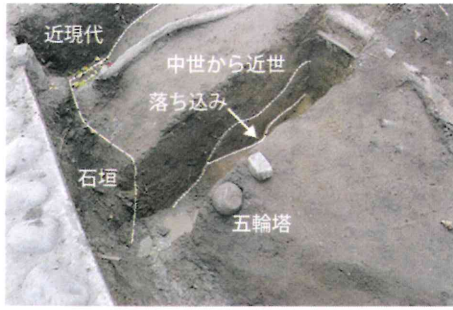
令和3年度は、墳丘北側の史跡指定範囲から広場（A区）、園路外（B区）で墳丘の裾や周濠、周堤の確認を目的とした調査を進めています。

令和3年12月5日(日)
・調査区自由見学
10時～12時

現在までの調査で、後円部北西側の墳丘の裾と周濠（A区）、古墳北側には外側の濠がなかったこと（B区）を確認しています。



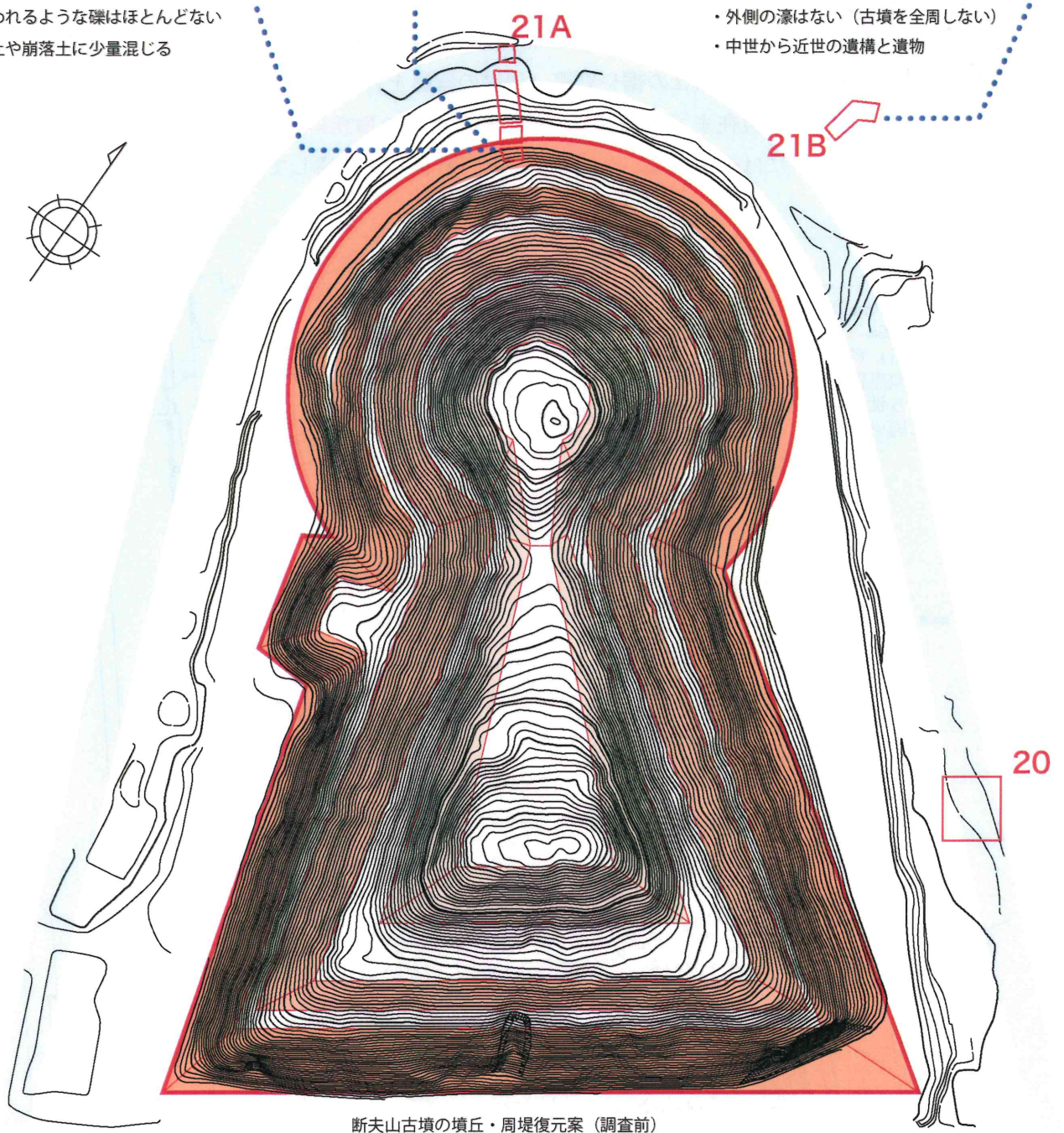
調査機関:愛知県県民文化局文化部文化芸術課文化財室
名古屋市教育委員会
(公財)愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター
調査支援:株式会社 二友組



- ・後世の盛土、崩落土の下に落ち込みを確認
- ・葺石と思われるような礫はほとんどない
- ・埴輪は盛土や崩落土に少量混じる

- ・後世の盛土から円筒埴輪と形象埴輪（右下）が出土

- ・後世の掘り込み、埋設物が多い
- ・外側の濠はない（古墳を全周しない）
- ・中世から近世の遺構と遺物



断夫山古墳の墳丘・周堤復元案（調査前）

